

株式会社資生堂
白浜町椿で
森林保全活動の実施を決定！
和歌山県「企業の森」

このたび、株式会社資生堂は、白浜町椿において、県が進める「企業の森」事業を活用し、森林保全活動を実施することになりました。

「椿の森（仮称）」は、地名の由来であり、資生堂のブランドでもある椿を、今後10年間にわたり育林していく森林保全活動で、荒廃した里山の復元に取り組みます。

この「企業の森」事業への企業等の参画は、本年度9団体、全体では47団体となり、本県としても、今後この事業への県内外企業等の参画に拍車がかかるものと期待しています。

■株式会社資生堂「椿の森（仮称）」の概要

① 実施地の概要

白浜町椿の山林 約1.7ha（民有林）

② 実施計画

平成21年5月に植栽を実施し、以降10年間にわたって森林保全活動を行う。

・植栽樹種及び本数

ヤブツバキ 約2,700本

・植栽や下草刈り等の作業及び現場管理等については、西牟婁森林組合に委託する。

・職員や職員の家族が植栽や下草刈り等の作業に参加する。

■森林保全・管理に係る協定の調印式

平成21年2月20日（金）11:00～

・場 所：和歌山県庁本館3階 知事室

・出席者：株式会社資生堂 執行役員
白浜町長
和歌山県知事

内田 隆文
立谷 誠一
仁坂 吉伸

西牟婁森林組合 代表理事組合長
土地所有者 他

近藤 新治

